

学校教育の充実のために

上田染谷丘高等学校 1年 下崎友菜

テーマ設定の理由

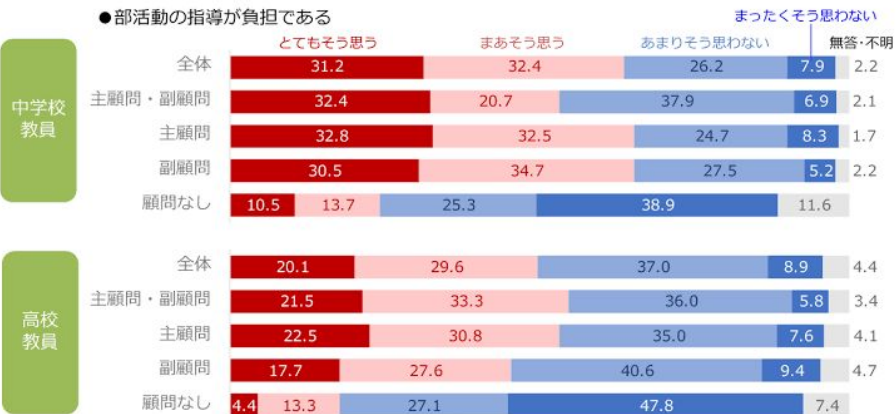
ニュースなどで部活動の地域移行についての話題や、学校と地域との連携を進めることによる教育内容の充実、指導者の負担の軽減を図る政策について報道されていたから。

現状

児童生徒のニーズの多様化や生徒数減少による活動メニューの縮小化、教員の業務負担増加が進む。

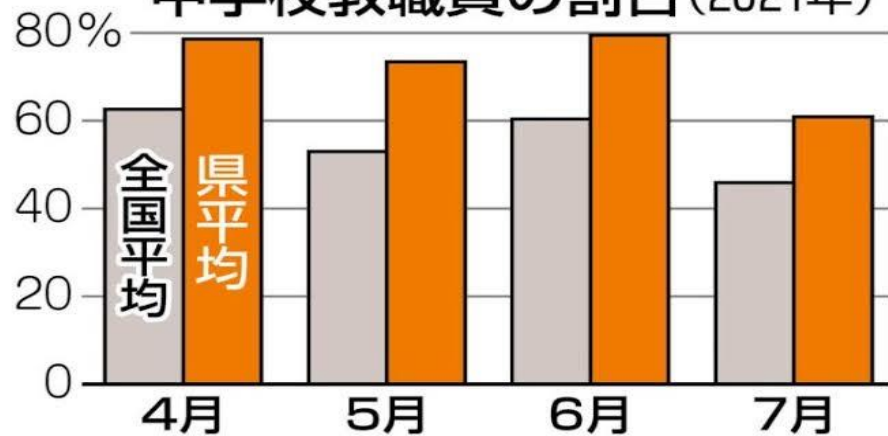
→部活動の地域移行

●図表16：部活動の負担感（顧問形態別）

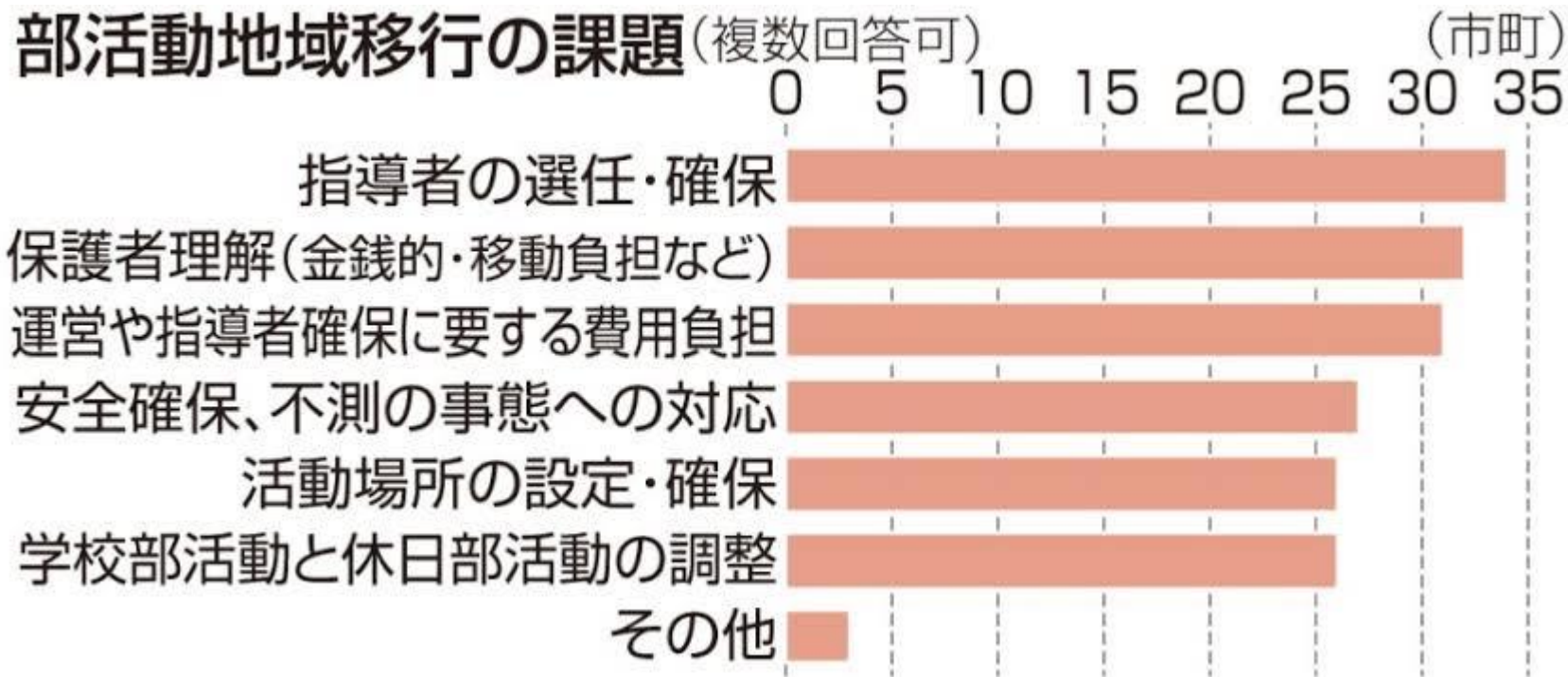


* 出典：ベネッセ教育総合研究所「第6回学習指導基本調査(小・中版)」、「第6回学習指導基本調査(高校版)」(2016年8～9月実施)
* 対象：中学校教員3,689名、公立高校教員6,436名、私立高校教員1,887名。

超過勤務45時間超の 中学校教職員の割合(2021年)



課題



課題改善のための政策

・教育委員会による適切なガイドラインの制定し、指導者に理解と遵守をさせる

・コーディネーターの人材の設置

・スポーツ庁、文化庁や県による補助金支援

部活動の地域移行における会費のシミュレーション

※金額は平均。
城南進学研究社の調査より



学生指導員らで人件費圧縮、補助金受給などで運営費圧縮

部活動地域移行の体制整備のイメージ

○ 総合型地域スポーツクラブ

○ 民間事業者

○ 文化芸術団体

⋮

コーディネーター

連絡・調整など

学校

提案

教育委員会によるガイドラインの制定を進めるべきである。また、効率よく指導者を見つけることのできるよう、地域のスポーツ団体に協力を仰ぐべきである。教員の過重労働は近年かなりも問題になっているため、教員の負担を減らすことのできるよう、早急に改善進めるべきだ。

感想

専門の指導者に部活動の指導を移行することで、教員の負担が減るだけでなく教育内容の充実にもつながると思う。

今後、部活動の地域移行が進んでいくといいなと思う。

引用と参考文献

<https://mainichi.jp/articles/20220721/ddm/012/100/063000c>

<https://www.saga-s.co.jp/articles/-/905334>

<https://sukusuku.tokyo-np.co.jp/education/53809/>

<https://www.at-s.com/news/article/shizuoka/1233130.html>

https://berd.benesse.jp/special/datachild/comment01_3.php

terakoya.asahi.com/article

<https://www.kyobun.co.jp/glossary/club-activity-shift/challenges-0201/>